



6-1 現在

人のうごき

《総人口》
97,706人 (-20)
男性 49,604人 (-29)
女性 48,102人 (+9)
《世帯》51,005世帯 (+9)

()内は、前月との比較です。

広報ちとせのおわびと訂正

広報ちとせ号外 (R3.5.20新聞折込) で「感染症健康センター」の電話番号を「☎0800(222)0018」と表記しましたが、4月から、「☎0120(501)507」に変更となっています。

5/9 千歳アイヌ協会 知識と技術の継承はじまる
30年ぶりにチプ(丸木舟)を制作



千歳アイヌ協会は、蘭越生活館で、チプ(丸木舟)の制作をはじめました。素材であるカツラの大木の加工作業を前に《カムイノミ(神への祈り)》で、関係者の安全祈願を行いました。その後、チェーンソーを使い、カツラの木を切断し、チプ制作の第一歩を踏み出しました。チプの制作は市がアイヌの伝承活動を後世に継承していくため、国のアイヌ政策推進交付金を活用し、千歳アイヌ協会に委託。本事業では2隻のチプを制作する予定で1隻は8月末に完成させ、9月上旬のアシリチエプノミ(サケを迎える儀式)で使用する予定です。

5/8 5/11 5/12 新型コロナ感染防止対策の徹底を呼び掛け
市内商業施設で街頭啓発

市は、新型コロナウイルス感染拡大防止を呼び掛ける街頭啓発を実施しました。山口市長や市職員が商業施設の入り口で、不要不急の外出自粛を求めるチラシを同封したポケットティッシュとマスク約2,000枚を配布しました。また、5月11日から31日までを市独自の新型コロナウイルス集中対策期間とし、感染対策のさらなる徹底を呼び掛けるため、市庁舎や公共施設に啓発ポスターを掲示するなど注意喚起を行いました。



5/20 避難施設の混雑状況を確認できます
災害時の情報提供に関する協定を締結



市は、株式会社バカンと《災害時の避難施設における情報の提供に関する協定》を締結しました。災害時に市内の避難所の混雑状況をスマートフォンやパソコンで確認できる無料サービスを提供するもので、避難所の混雑回避につなげ、新型コロナウイルス感染症対策に役立つことが期待されます。山口市長は、「災害と感染拡大の二重の被害を防ぐため、有効なツールとして活用したい」と感謝を述べました。

5/26 北海道・北東北の縄文遺跡群 イコモスが登録勧告
キウス周堤墓群、世界遺産へ前進



市内中央地区にある国指定史跡《キウス周堤墓群》を構成資産の一つとする《北海道・北東北の縄文遺跡群》が、国際記念物遺跡会議(イコモス)からユネスコに、「世界遺産一覧表への記載が適当」との勧告がなされました。7月に開催予定の世界遺産委員会において「北海道・北東北の縄文遺跡群」が勧告どおりに世界遺産へ登録されるよう、市は、引き続き国や縄文遺跡群世界遺産登録推進本部、関係自治体との連携を図るとともに、今後、キウス周堤墓群の価値と魅力を来訪者の皆さんに伝える取組をさらに進めます。



長年の思いが実る

写真は、令和元年7月30日、キウス周堤墓群を含む《北海道・北東北の縄文遺跡群》が世界文化遺産登録の国内推薦候補として決定し喜ぶ関係者の皆さん。今回の登録勧告を聞いた《キウス周堤墓群を守り活かす会》の大江晃己会長(写真右から1人目)は、「2013年から国内選考に臨んでいましたが、何度も推薦が見送られるなど道のりは長かった。勧告の報告を聞いてほっとしたし、素直にうれしかった」と喜びを語りました。



価値と魅力を伝える取組

4月25日、世界遺産登録を見据え、ボランティアガイド養成講座を受ける受講生の皆さん。世界遺産に登録されると、国内外から《キウス周堤墓群》を訪問する方が増加すると見込まれます。来訪者に《キウス周堤墓群》の魅力を伝えるため、市と《キウス周堤墓群を守り活かす会》が協働でボランティアガイドの育成を行っています。

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。



新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、※6月20日まで、史跡キウス周堤墓群を臨時閉鎖しています。再開が決まりましたら、市ホームページでお知らせします。再開した際には、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。※感染状況により、期間が延長となる場合があります。